



2023年(令和5年)

8月号

発行
青森大学
広報室

〒030-0943
青森県青森市
幸畑2-3-1
TEL 017-738-2001
FAX 017-738-0143



ソフトウェア情報学部 に新コース

国が支援対象に選定

デジタルや脱炭素と
いった成長が見込める分
野の人材育成へ向け、理
工学部を機能強化する
大学などを財政支援する
国の事業の対象に青森大
学が選ばれた。



不足することが予想されるデジタル人材の育成に力を入れる

計画では、ソフトウェア
リーントランスフォー
メーション(GX)などの
研究とITなどの特定成
長分野の内容を掛け合わ
せ、地域の課題を情報工
学の視点から解決できる人
材を育成する。人材育成の
拠点となる施設「情報館
(仮称)」を青森キャンパス
内に整備する計画である。

瀬谷泰秀学長は「最新の
情報技術の教育・研究を
担う学部の機能強化は、青
森大学全体の教育研究能
力の向上に繋がるだけで
はなく、青森地域全体の進
歩にも繋がる」と抱負を語
る。

文部科学省は7月下旬、
支援の対象となる計11
1校を発表した。約3千億
円の基金を創設。主にデジ
タル系などの学部で、組織
改編する公私立大学には
最大20億円を支援する
という。

学生の声



■安田ヒカルさん
■総合経営学部 経営学科1年
(青森商業高校卒)

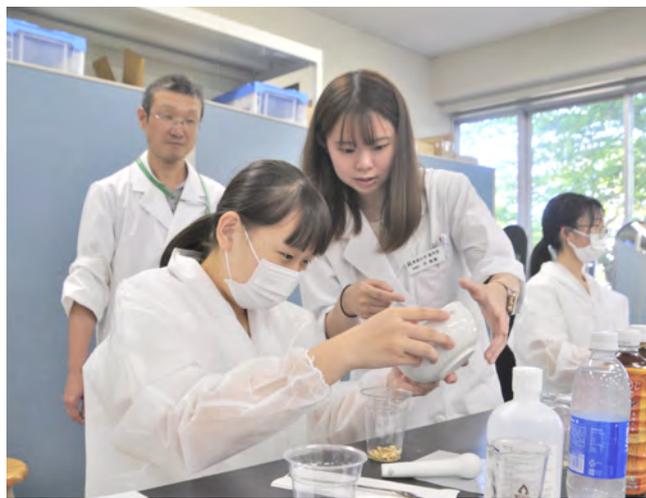
「前期を終了していかげす
か？」

「授業は、自分の取りたい授業
を取っているの、どの授業も
とても面白い。高校などで
も取り入れられないのかなと思
いました(笑)。入学時は当然
様々な不安がありました。イ
ベントや学部横断の授業がいつ
ぱいあって、他学部の学生たち
とも仲良くなり、色々な活動が
できました。」

「今、力を入れていることはあ
りますか？」

「卓球部に入学しました。イン
カレ出場を目指します。また、勉
強面では自分自身の成長のた
め、色々な資格の取得に挑戦し
たいと考えています。教員免許
も取得し、卓球部の顧問になっ
て、知識と経験を次の世代に伝
えることができる存在になりた
いです。」

薬学部が薬剤師体験セミナー



千葉学園高校卒業生で、現在 薬学部6年 平美樹さん(右)
セミナーなどでは積極的に教職員のサポートをしてくれている

秋田県大館市の中高生が参加

薬剤師を志す若者らに
いた。

意欲を高めてもらおうと、
薬学部が7月29日、青森大
学青森キャンパスで秋田
県大館市の中高生を対象
に「薬剤師体験セミナー」
を開催した。今年は10回目
の節目の年となった。

薬学部教員や薬学部生
指導のもと、製剤試験や調
剤業務を体験し、現役薬剤
師との座談会も行われた。
担当者から語られる薬剤
師の使命や取り巻く環境
について、中高生らは真剣
な眼差しでメモを取って

「資格取得後も成長して
いく必要性を感じまし
た。コミュニケーション
能力が勉強と同じぐら
い大切だといっていた
のが印象的でした」と話
していた。
青森県の薬剤師体験
セミナーは8月26、27日
に実施される。

社会学部・石井ゼミで合宿

岩手釜石で地域復興を学ぶ

石井重成准教授のゼミが6月17日から2泊3日の日程で、岩手県釜石市をゼミ合宿に訪れた。釜石での合宿は本ゼミとして、2回目2年目となった。震災からの地域復興や街づくりへの学びを深めるとともに、昨年度お世話になった釜石の皆さんと元気に再会することを目的に実施された。

車を相乗りして14名で釜石入り。初日は磯焼けウニ対策養殖事業やワーケーション施設の見学。ワー

ケーションに関する最新事例をリサーチ。青森市との



地元の関係者に今後のビジョンについて語ってもらい、意見交換をした



「釜石市野田武則市長表敬訪問」の様子

ワーケーション事業の着想を得て、初日を終了。2日3日目は、リージョナルコーデイネーター協議会や釜石市野田武則市長表敬訪問、オープンシティ推進室等で復興の進捗状況や未来を見据えた街づくりに比重が高まってきていることを確認した。ゼミ生たちは、「自分が暮らす街や日本の問題を真正面から受け止め、苦勞をしながらも前進を繰り返す釜石の人たちが眩しかった。もっと勉強して、来年も釜石を訪れたいです。」と語った。

学生の声



■傳法 圭太 さん
■総合経営学部 経営学科1年
(青森山田高校卒)

「前期を終了していかげすか？」

「大学にはバドミントン部がなかった(休部状態)ので、復活させました。練習場所も母校の練習や社会人チームに参加させてもらえるように交渉しました。まだ、部員は私だけですが、来年は部員募集も頑張りたいです。」

「今、力を入れていることはありますか？」

「アルバイトです。道具代や旅費などの工面がとても苦勞しています。練習時間は削れないので、早朝と夜にバイトを入れています。近々の目標は、東北N.O.1です。応援よろしくお願いたします。将来は、教員になりたいです。自分も鍛錬を続けながら、みんなにバドミントンの楽しさを伝えていきたいです。」

総合経営学部で BBQ



ゼミの仲間たちが親睦を深めた

学生が交流深める

総合経営学部は7月24日、1年生同士の交流を深めようとキャンパス内の駐車場でバーベキュー大会を盛大に開催した。

122名の学生が参加。同27日からの前期試験を前に焼き肉で英気を養うとともに、夏休み中にキャンプ等で使用する可能性のある火器の扱い方やマナーについて、BBQを楽しむながら技術と知識も習得した。

いくつかのグループ分かれて、準備や調理、後片付けを行い、青空の下で学生たちの会話に花が咲いた。

参加した学生からは、「同じテーブルで同じ目標に取り組んでいると不思議と勝手に仲間になっていく。ごはんって凄くなって思いました(笑)」といった声が相次いだ。

教員らは「今後も様々なイベントを継続し、学友との親睦を深めてほしい。そして、より良い大学生活を謳歌してもらいたい。」と話していた。